

「現在の展示」



[重要文化財]
Important Cultural Property

遮光器土偶

青森県つがる市木造亀ヶ丘出土
縄文時代(晩期)・前1000～前400年

Dogu(Clay Figurine)with Goggles

From Kamegaoka, Kizukuri, Tsugaru-shi, Aomori
Jomon period, 1000-400 BC

将来の展示

「未来の展示」



[重要文化財]

Important Cultural Property

遮光器土偶

青森県つがる市木造亀ヶ丘出土
縄文時代(晩期)・前1000～前400年

Dogu (Clay Figurine) with Goggles

*From Kamegaoka, Kizukuri, Tsugaru-shi, Aomori
Jomon period, 1000-400 BC*

[change Language](#)

【概要】

日本の土偶といったときに、真っ先にあげられる代表的な土偶です。

でも実際には、東北地方からしか出土しません。 [日本地図で見る縄文時代の土偶](#)

遮光器土偶という名称は、目がサングラスの形をしているところから来ています。 [遮光器の写真](#)

これがサングラスなのか、その当時の表現なのかは、議論がわかれています。 [世界地図で見る土製品の目の形](#)

写真の土偶は左足が欠けていますが、完全な形で出土することはあまりありません。 [欠けてない土偶](#)

意図的に切った形跡が見られるため、当時の人が一部をわざと破壊した物と考えられています。 [写真で比べる土偶の切り口と自然の破損](#)

呪術的な理由、または祭祀的な理由と考えられています。

世界一般に見て、人形は農耕が始まってから見られます。

その意味で、農耕以前の狩猟採集期である縄文時代の土偶は、世界的に見てとても珍しい物です。

[世界地図で見る狩猟採集期の土製品](#)

【お知らせ】

- ・ YYYY/MM/DD 解説を公開しました。
- ・ YYYY/MM/DD 展示を開始しました。

【評価の高いQ&A】

Q：土偶はすべて人の形なのですか？

Q：土偶の多い地域、少ない地域は？

Q：埴輪とはどう違うのですか？

【全てのQ&A(新しい順)】

Q：土偶は英語で何というのですか？

Q：埴輪とはどう違うのですか？

Q：土偶はいくつくらい出土していますか？

Q：土偶の多い地域、少ない地域は？

Q：土偶はお墓から出土するのですか？

Q：遮光器ははなんですか？

Q：遮光器をつけてない土偶もありますか？

Q：土偶はすべて人の形なのですか？

このコンテンツは準備中です

#データベースから地図や年表を自動生成することを意図して、「横軸|見る|フィルタ|縦軸|色違いの縦軸|」としてみました

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

#これも、ただの写真を並べたページを自動生成するだけでなく、必要ならば特別な解説をつけられるように、[[写真で比べる 肉と骨]]としてみました

このコンテンツは準備中です

Q:土偶はすべて人の形なのですか？

A:人の形が多いですが、ミミズク土偶{{要出典}}なども見つかっています。

顔しかない土偶もあります。仮面として使われたのではないかという説があります。 顔だけの土偶

土器とも土偶とも取れない物も出土しています。 三角形土製品

動物型のもの(魚形、 獣形)や、用途不明なものも見つかっています。 種類で見る縄文時代の土偶

学術的には、土製品の中で、特に人の形をしたものを土偶と呼んでいます。

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

Q:土偶の多い地域、少ない地域はありますか。

A:一般に、東日本が多く、西日本は少ないです。鹿児島、北海道でも発見されていますが、沖縄ではまだ出土していません。 [日本地図で見る土偶](#)

このコンテンツは準備中です

Q:埴輪とはどう違うのですか？

A:土偶は縄文時代に多く見つかかり、そのあとの弥生時代ではあまり出土していません。埴輪は、さらにそのあとの古墳時代に、古墳から出土しています。 [年表で見る日本の土製品](#)
土偶の多くは中に空洞がありませんが、埴輪は普通、中に空洞があります。

[写真で比べる土偶と埴輪](#)

普通、土偶よりも埴輪の方が大きいです。

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

Q:土偶は英語で何というのですか？

A:よく「Clay figure」(粘土の人形)と訳されます。

しかし、日本以外で見つかる人形と比べるととても珍しい形なので、そのまま「Dogu」と訳されることあります。 [世界地図で見る狩猟採集期の土製品](#)

Q:土偶はいくつくらい出土しているのですか。

A:15,000点くらい出土しています。世界的に見て、狩猟採集期にこれだけの土偶が見つかるのは極めて珍しいことです。 [世界地図で見る狩猟採集期の土製品](#)

Q:土偶はお墓(墓地)から出土するのですか?

A:お墓が集まっている「墓地」は縄文時代中期以降に登場しますが、土偶はお墓や墓地だけではなく、貝塚、その他いろいろなところから出土しています。 [日本地図で見る土偶](#)
ただし、農耕生活になる弥生時代になると、土偶の数が減り、しかも多くは墓から見つかるようになります。 [縄文時代の土偶と弥生時代の土偶](#)

これも、世界的に見て農耕時代に人形が多く作られるのとは対象的です。

[世界地図で見る狩猟採集期の土製品](#)

そのあとの古墳時代になると、古墳から埴輪が出土するようになります。 [埴輪](#)

このコンテンツは準備中です

このコンテンツは準備中です

Q:遮光器とはなんですか。

A:遮光器とは、サングラスのように太陽の光をカットして目を守る道具のことです。

同じ時代{{要出典}}に北極圏のアメリカ先住民が雪の反射から目を守るために使っていたゴーグルに似ているため、こう呼ばれています。

しかしこの遮光器そのものは日本からは出土していないため、遮光機を模したものではないと考えられています。 

このコンテンツは準備中です

Q:遮光器をつけていない土偶もあるのですか？

A:あります。 種類で見る縄文時代の土偶

このコンテンツは準備中です